KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立超高圧洗浄機
WMT200/50
WMT200/60

⚠ 警 告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

⚠ 注　意

- **この取扱説明書は、いつでも読めるように、紛失、汚損の恐れのない、すぐ取出せる所に必ず保管してください。**
- **この説明書が損傷により読めなくなった場合、紛失した場合は、販売店より新しく取扱説明書を購入し、常に参照できるよう保管してください。**
- **この取扱説明書で解説している機械を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書を読ませ、充分な指示、訓練を行なった後、この取扱説明書とともに機械を貸与してください。**
- **製品を譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。**
- **ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。**

警告表示ラベルについて

- **この取扱説明書で解説されている機械には、下記の「警告表示ラベル」が貼付してあります。ご使用前に「警告表示ラベルの位置」で確認し、ラベルの意味を理解してください。**
- **万一、ラベルが摩滅したり破損して読めなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店より新しくラベルを購入し、「警告表示ラベルの位置」に指示してある箇所に貼り、常にラベルが読める状態を維持してください。**

警告表示ラベル

⚠危　険	アース線の結線無しで本機を使用すると重大な事故が発生するおそれがあります。 保守・点検の際は必ず電源を「切」にして、かつプラグを抜いてください。 電気機器をぬれた手でさわらないでください。感電するおそれがあります。
⚠警　告	カバーをはずして運転しないでください。けがをするおそれがあります。 運転中は回転部やベルトには絶対にさわらないでください。けがをするおそれがあります。 本機の積み降し時はタンクの水を抜いてください。重量に見合った運搬装置を使用してください。 本機の吊り上げは必ず赤色の吊り金具部で行い、周囲および下部に充分注意してください。
⚠注　意	取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 保護カバーやその他安全装置を取り外したままで使用しないでください。 安全装置の作動確認を行ってください。作動不良によりけがをするおそれがあります。 ノズルを絶対に人や動物に向けないでください。 保護衣・ゴーグル・ゴム手袋・ゴム長靴を用意し、安全な服装で作業してください。 噴射作業はガンをしっかりと支持してください。 移動時以外は必ず本機を固定してください。 本機に直接噴射しないでください。短絡及び漏電を引き起こすおそれがあります。 使用後は、ホース及びガンの水を抜いてください。 本機から離れる時は、電源スイッチを「切」にしてください。 ホースの損傷や、折れ曲がったホース、継手金具の悪いものは、新品と交換してください。
X505000431	

はじめに

共立超高圧洗浄機をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- この超高圧洗浄機をこの取扱説明書に書かれている目的以外に使用しないでください。
- この取扱説明書には、組立や操作、整備に必要な事項が書かれていますので正しく効果的な製品の取扱いができるよう、よく読んで理解してください。

目 次

はじめに …… 1
各部の名称 …… 2
警告表示ラベルの位置 …… 4
正しい作業のために …… 5
作業前の準備 …… 11
操作方法 …… 12
輸送・移動時の注意 …… 13
点検・整備 …… 14
故障診断と対策 …… 15
長期保管 …… 16
仕　様 …… 16
配線図 …… 17

- 説明書の内容は製品の標準装備を基本に構成していますが、特別注文品（オプション）やアクセサリを使用する場合も含まれます。
- 本書に記載されている仕様や解説あるいは説明のために例にあげられている図や内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 単位はＳＩ単位を使用しています。（　）内は参考値ですので数%の換算誤差がある場合もあります。

⚠ 警　告

- 正しい作業のための警告・注意を注意深くよく読んで理解すること。
- 正確で正しい操作のために、この取扱説明書を必ず読むこと。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

丝 丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

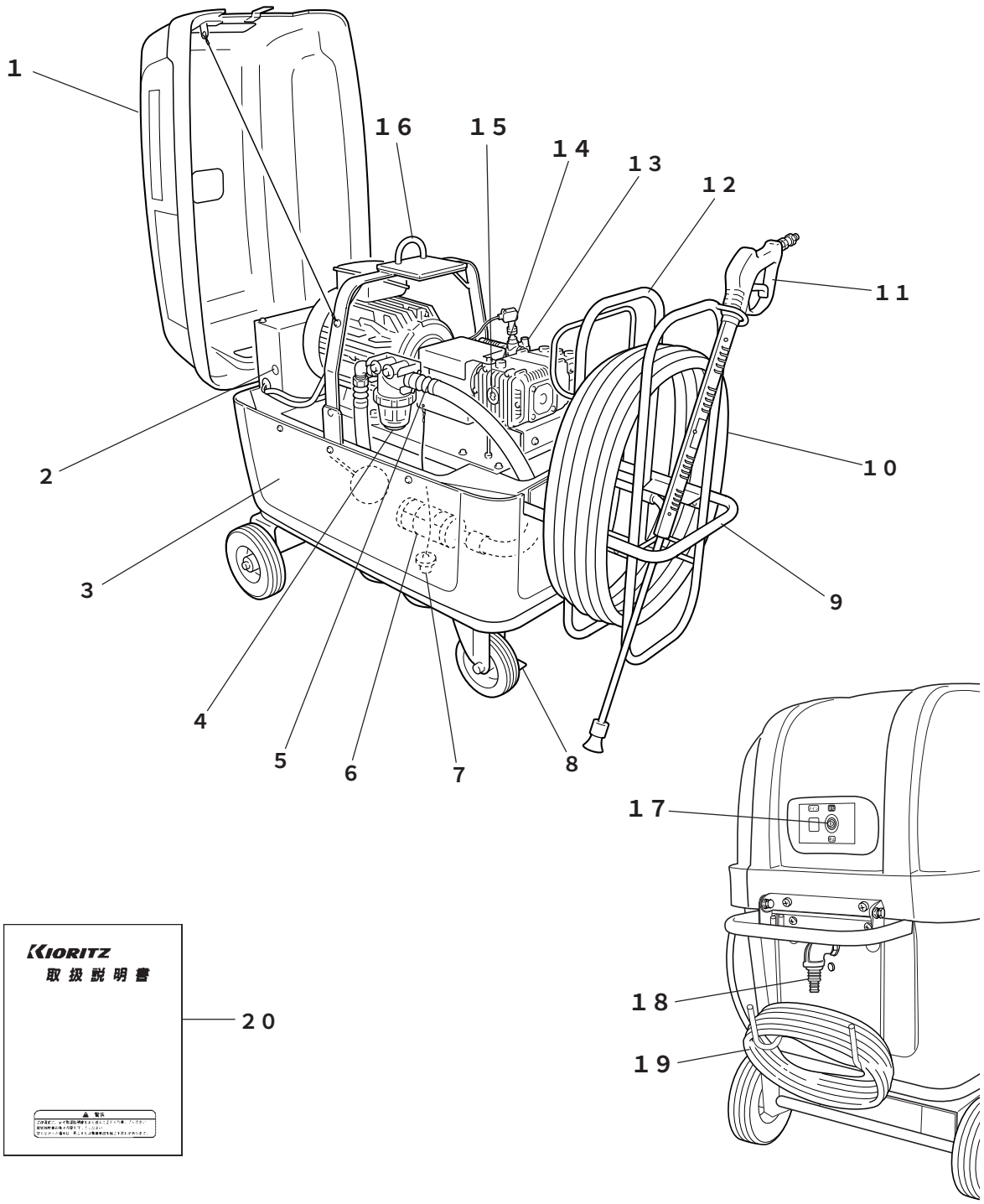
重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する注意事項です。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

各部の名称



WMT200-01,16

お客さまがご用意するもの

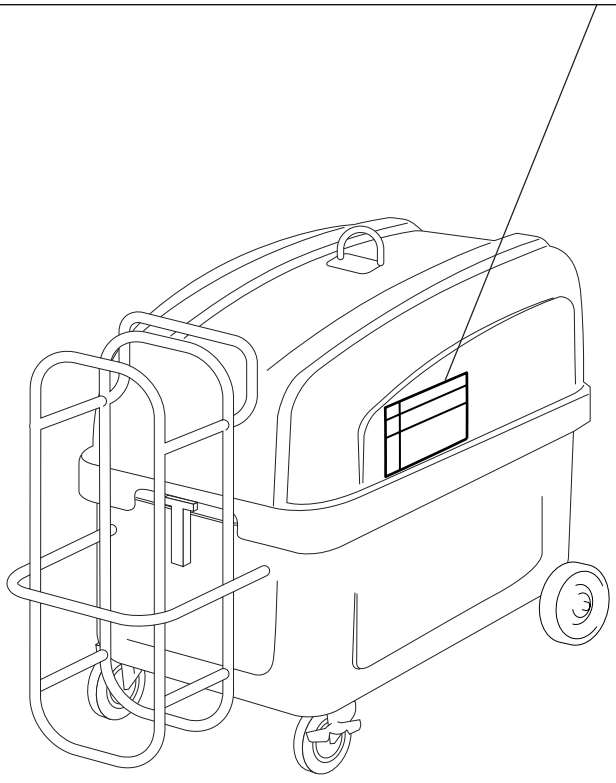
- 給水ホース（直径１５mmまたは１９mmの耐圧水道ホース）
- ホースバンド２ケ
- 外部吸水ホース
- 外部ストレーナ
- 外部余水ホース

各部の名称とその機能

１． カバー	―――	モータ、動噴を保護するカバーです。
２． リセットスイッチ	―――	過負荷運転などにより停止したときスイッチを押して復帰させます。
３． シースタンク	―――	噴射する水を入れる容器です。
４． 中間ストレーナ	―――	動噴にゴミなどが吸込まれるのを防止します。
５． 自吸口	―――	外部からの水を吸込むところです。
６． ストレーナ	―――	動噴にゴミなどが吸込まれるのを防止します。
７． ドレン	―――	タンク内の水を排出するときに開けてください。
８． ストッパ	―――	作業中や保管するときに車輪を停止するため使用します。
９． ハンドル	―――	移動時に使用すると共に､バンパの役目をします。
１０．高圧ホース	―――	噴射する水をトリガランスに送る高圧ホースです。
１１．トリガランス	―――	噴射水をコントロールするときに使用します。
１２．ホース巻き	―――	保管するときにホースを巻いてください。
１３．余水口	―――	動噴からの余水を排出するところです｡(外部から吸水させる場合に余水ホースを継ぎます｡)
１４．動噴注油口	―――	動噴オイルを入れるところです。
１５．動噴オイルゲージ	―――	動噴オイルの量を確認するときに使用します。
１６．吊り金具	―――	クレーンやユニックなどのフックに掛けるときに使用します。
１７．操作スイッチ	―――	運転・停止をします。(ブレーカ内蔵)
１８．給水口	―――	水道水を給水ホースから取入れるところです。
１９．電源コード	―――	供給電源に接続します。緑色がアース線です。
２０．取扱説明書	―――	必ず読んで、充分理解をした後に使用してください。

警告表示ラベルの位置

⚠危　険	アース線の結線無しで本機を使用すると重大な事故が発生するおそれがあります。 保守・点検の際は必ず電源を「切」にして、かつプラグを抜いてください。 電気機器をぬれた手でさわらないでください。感電するおそれがあります。
⚠警　告	カバーをはずして運転しないでください。けがをするおそれがあります。 運転中は回転部やベルトには絶対にさわらないでください。けがをするおそれがあります。 本機の積み降し時はタンクの水を抜いてください。重量に見合った運搬装置を使用してください。 本機の吊り上げは必ず赤色の吊り金具部で行い、周囲および下部に充分注意してください。
⚠注　意 X505000431	取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 保護カバーやその他安全装置を取り外したままで使用しないでください。 安全装置の作動確認を行ってください。作動不良によりけがをするおそれがあります。 ノズルを絶対に人や動物に向けないでください。 保護衣・ゴーグル・ゴム手袋・ゴム長靴を用意し、安全な服装で作業してください。 噴射作業はガンをしっかりと支持してください。 移動時以外は必ず本機を固定してください。 本機に直接噴射しないでください。短絡及び漏電を引き起こすおそれがあります。 使用後は、ホース及びガンの水を抜いてください。 本機から離れる時は、電源スイッチを「切」にしてください。 ホースの損傷や、折れ曲がったホース、継手金具の悪いものは、新品と交換してください。

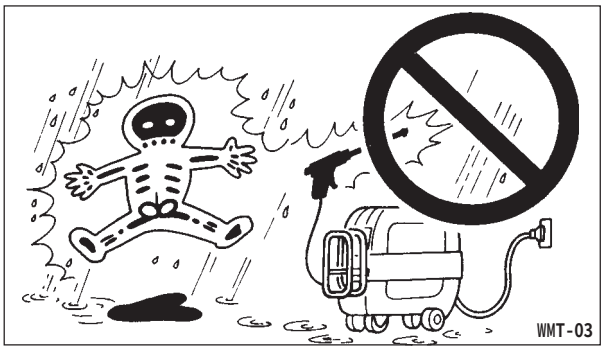


WMT200-04

正しい作業のために

⚠ 危　険

本機は電動モータ内蔵の電気製品です。濡れたままの手で電源コード、プラグをさわったりすると感電することがあります。



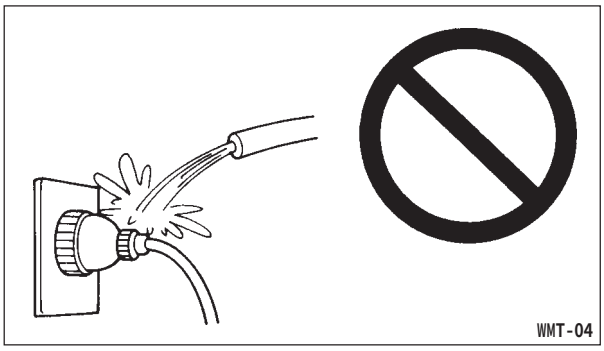
⚠ 警　告

夜間や、視界が悪く暗い場所では、機械を絶対に操作しないでください。

- **雨天時、屋外での使用はできません。感電や本機の故障の原因となります。**

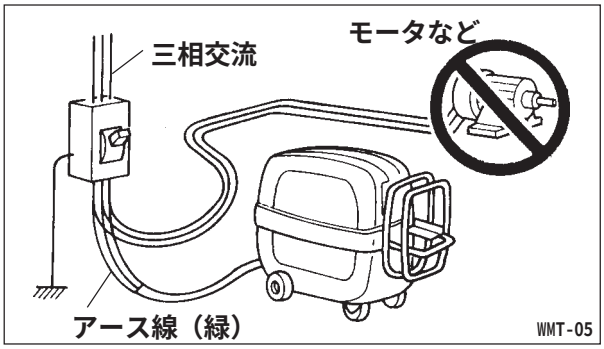
⚠ 危　険

アース線の結線無しで、本機を使用すると重大な事故が発生する危険があります。
アース線の結線無しでは使用しないでください。



⚠ 注　意

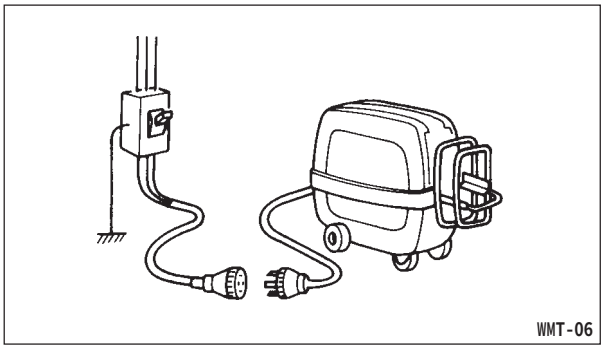
本機の電源コードや、電源の接続部および本機へは直接噴射しないでください。
思わぬ、事故の原因となります。



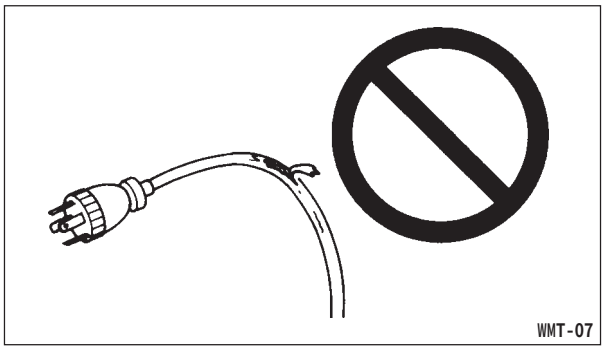
- **電源は三相交流２００Ｖを本機専用ブレーカに電源コードで配線してください。**

⚠ 警　告

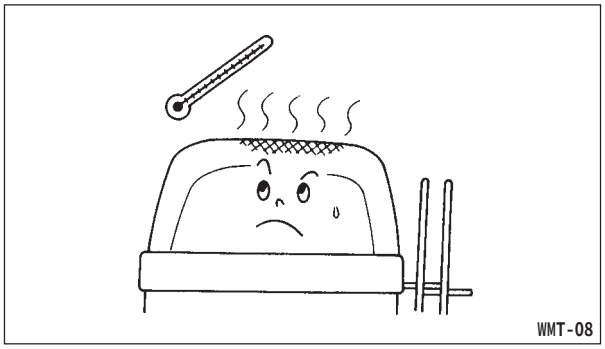
配線工事は、必ず供給電源を切ってから行なってください。
本機の電源コードは固定しないでください。



- **電源容量は５．５ｋW以上必要です。**
- **延長コードを使用する場合は、下記のゴムキャプタイヤコードに準じたものを使用してください。**
  （長さ　２０m以内　　断面積　３．７mm²）
- **接続は必ず防滴形の規定プラグ、ソケットを使用してください。**



● 傷があったり、被覆がむけていたり、古くなった、電源コードは必ず新品と交換してください。



⚠ 警　告

長時間使用すると本機上面が熱くなります。
触れないでください。

重　要

モータの過負荷保護のため、ブレーカが内装されています。（手動復帰）

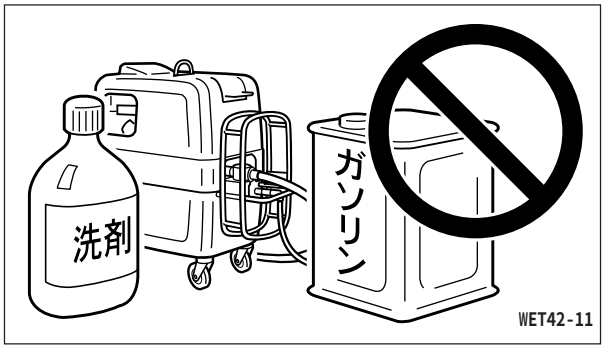
⚠ 注　意

再始動の際には、必ず停止した原因を取除いた後に、行なってください。

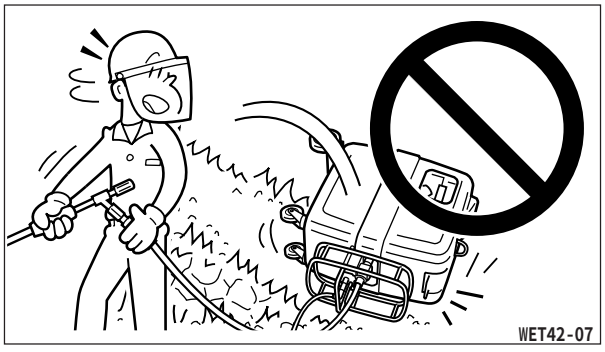
重　要

再始動は、一度操作スイッチを“停止”してリセットスイッチを押してから、再度‘運転’にしてください。

● 以下の原因などにより、安全装置として働きモータが停止します。
1） 高圧動噴の過負荷。
2） 電圧の異常低下。（１８０Ｖ以下）
3） 連続運転により、オーバーヒート。
4） 凍結による、動噴・配管内のロック。
※ このときは必ず操作スイッチを“停止”にしてください。



● 動噴の吸込みは、汚水、湯、洗剤、ガソリンなど水以外のものを使用しないでください。



⚠ 注　意

● 本機を不安定な場所や転倒の恐れがある傾斜地に置かないでください。
● キャスターのストッパは必ずロックしてください。
● 運転中は必ず車輪に歯止めをしてください。



からだの状態

● 病気のときや体調が悪いとき、妊娠中の場合、また､アルコールや体の機能に影響をおよぼす薬を飲んだときには作業を行なわないでください。

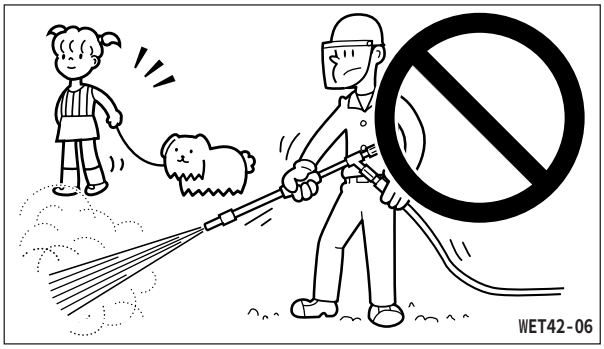
服装について

⚠ 警　告

適切な服装、保護具を身に付けないと事故が起きることがあります｡正しく作業するために、かならず適切な服装、保護具を身に付けてください。

● 必ずフェースシールドを付けてください。
● 滑りにくい作業靴を履いてください。
つま先のあいた靴、サンダル、はだしで作業を行なわないでください。
● 汗を拭いたり顔を洗うためにタオル､手ぬぐい、水などを用意してください。

作業前の点検

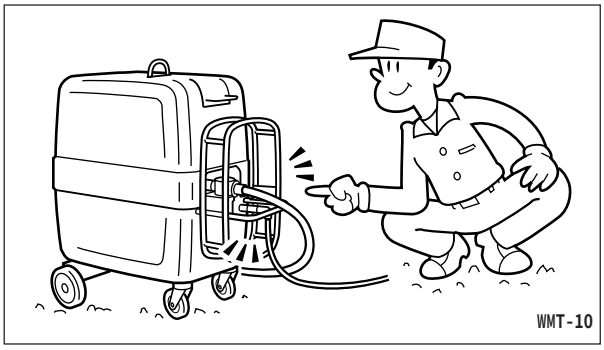


⚠ 注　意

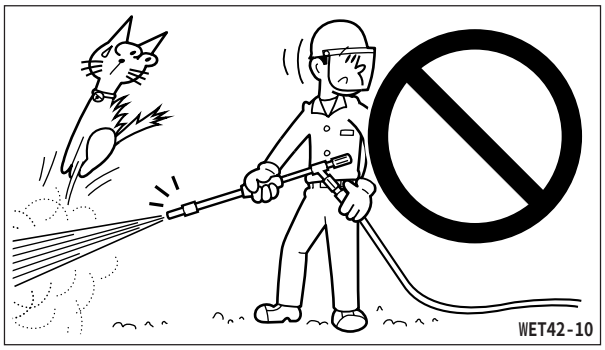
子供や作業に関係のない人が近くにいないことを確認してください。



● 作業場所の点検は必ず行ない、ゴミ、空きカンなど作業の障害になるものを取除いてください。



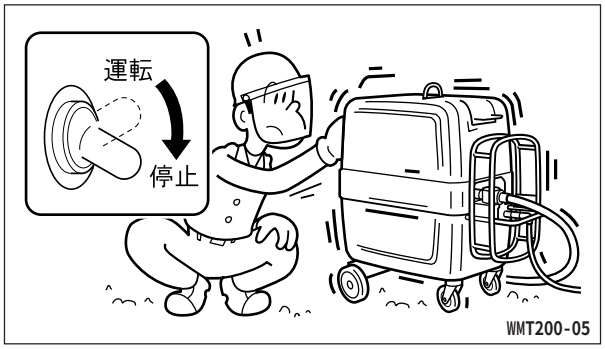
● ホース、その他の部品がきちんと取付けられているか確認してください。



作業中の注意

⚠ 警　告

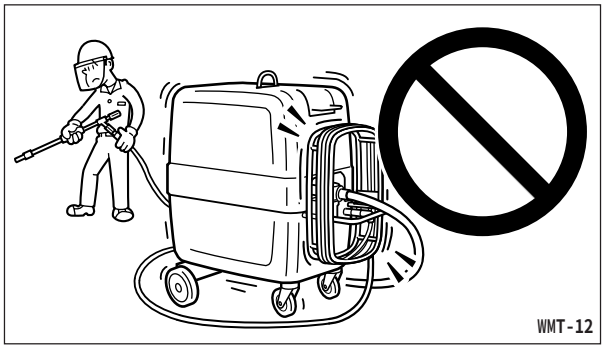
人、動物、電気が通っている製品、本機には噴射しないでください。
また、ノズルを人や動物に向けると思わぬ事故を起こす危険があります。



⚠ 警　告

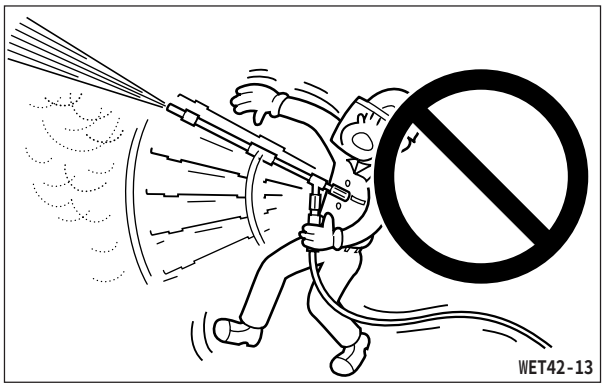
危険を感じた場合はすぐに作業を中止してください。

- **回転が不安定な場合や異常な音がした場合は、すぐに作業を中止してください。**



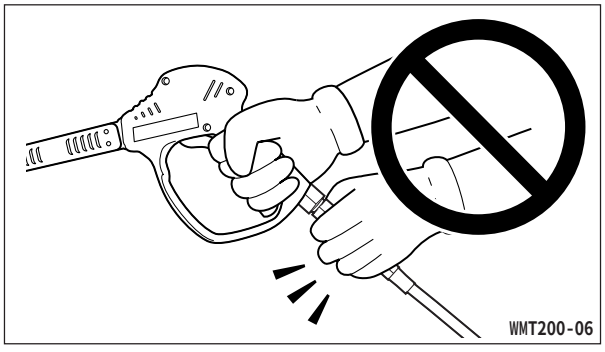
重　要

洗浄を行なう前に、高圧ホースをホース巻きから外してください。

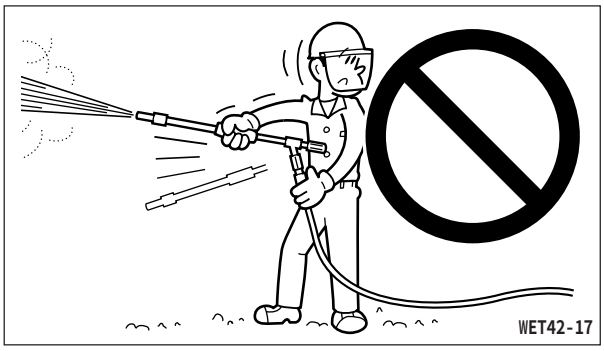


⚠ 注　意

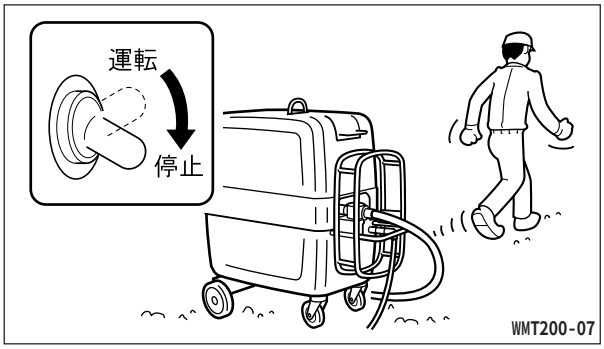
トリガランスをしっかり保持してください。反動がきたとき、思わぬ方向へ動くことがあります。



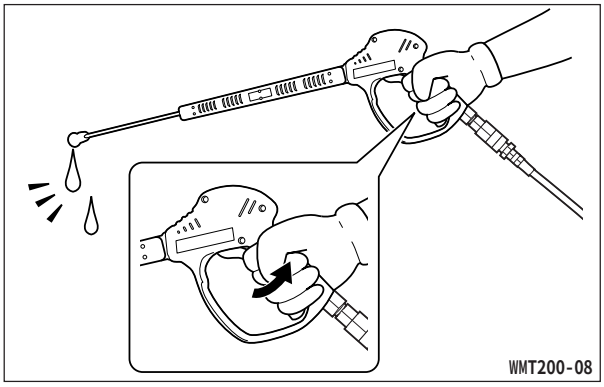
- **作業中はトリガランスのグリップ以外は持たないでください。思わぬ方向へ水が噴射されることがあります。**



● 作業中は、トリガランスの先を見てください。作業以外の場所を見るときは、作業を中断してください。



● 本機から離れるときは、操作スイッチを“停止”にしてください。



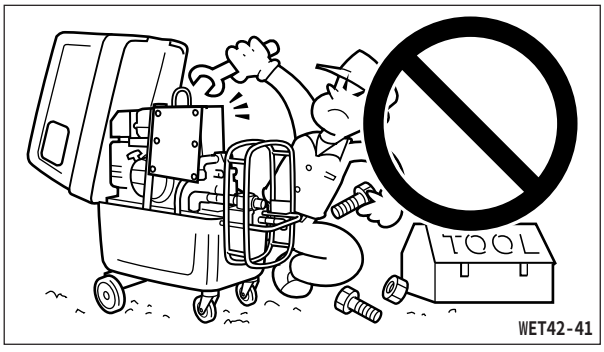
重　要

運転の中断や終了のときは電源スイッチを切ったあと必ずトリガを開き高圧ホース内の残圧を抜いてください。
次に作業を開始するときに反動を防ぐことができます。

点検・整備の注意

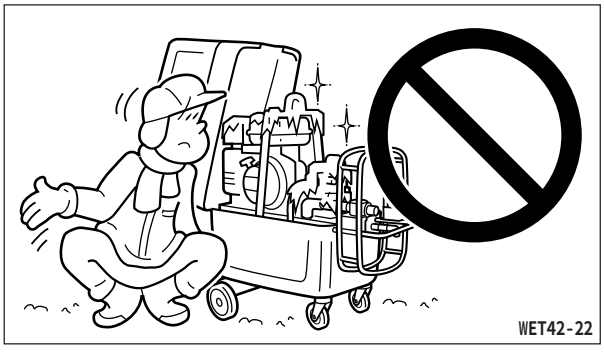
● この取扱説明書に従って点検・整備を行なってください。

● 当社指定以外の部品を使用したり、本機の分解や改造を行なったりしないでください。



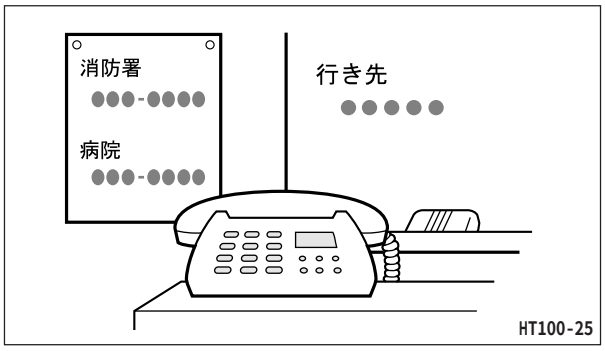
⚠ 警　告

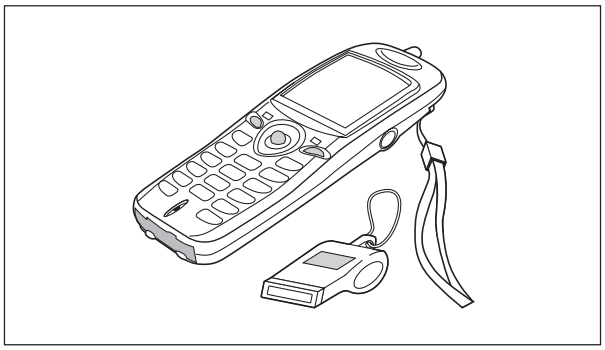
修理・清掃などの作業を行なうときは、必ず運転を停止し電源スイッチを切ってください。

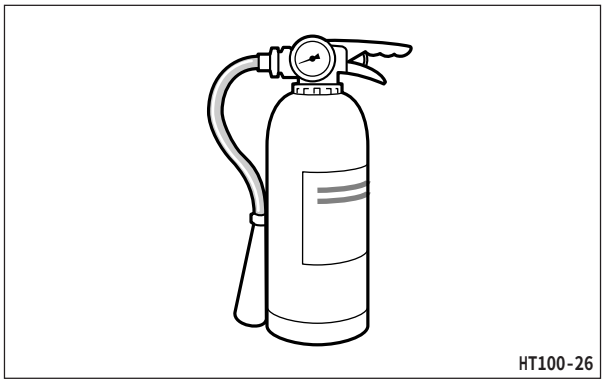


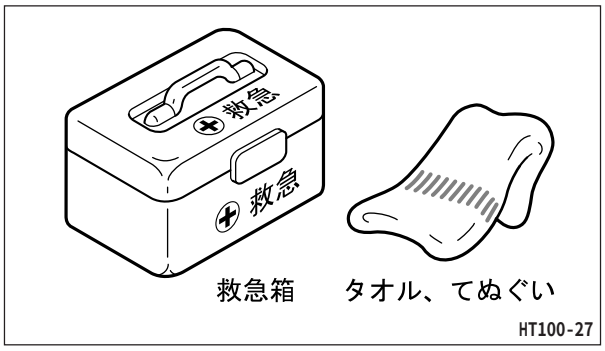
● 保管する前に必ず水を抜いてください。冬期に凍結することがあります。

●“長期保管の水抜き”の項（１６ページ）を参照してください。









万一の事故に備えて

● **作業の前に**

- **万一の事故に備え、電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。**
  特に消防署への連絡の場合、救急車のための目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。
- **単独で作業する場合、どこで作業を行なっているかが他の人にもわかるような方法（携帯電話を持つ、黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。**
  負傷し動けなくなり帰れなくなった場合の対処として有効です。
- **作業現場には、呼子（笛）を携帯してください。**

● **発火に対する備え**

⚠ 危 険

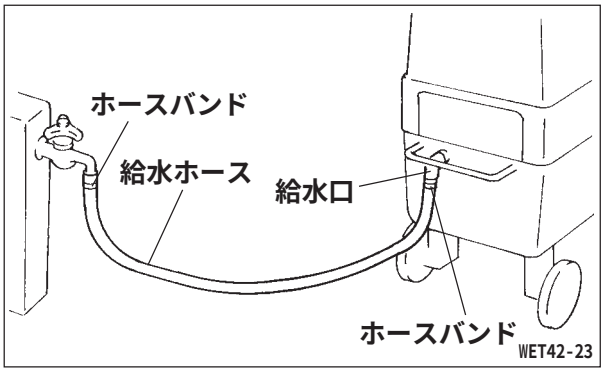
作業中、万一、本機や電源コードから発火発煙したら、まず機械から離れ、自分の身体の安全を確保してください。

- **自分の身体を、火災その他の傷害から守るように注意してください。**
  類焼しないように注意してください。
  シャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。

● **ケガへの備え**

- **万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。**
  出血をともなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや、てぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業現場へ携帯することをおすすめします。

作業前の準備



ホースを取付ける

● 水道水を使う場合

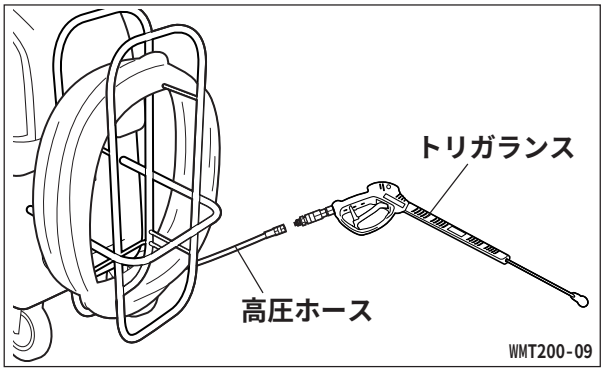
１．給水ホースの端を給水口に取付けてください。
反対側を水道の蛇口に取付けてください。
各接続口は必ずホースバンドで締付けてください。

重　要

本機を平坦で水平な場所に設置してください。

重　要

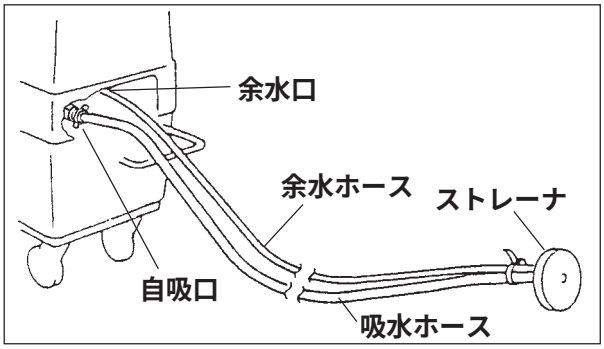
供給水道量は４０L/min(０.２～０.８MPa：２～８kgf／cm²) 以上が必要です。



２．高圧ホースの端をトリガランスに取付けてください。

⚠ 注　意

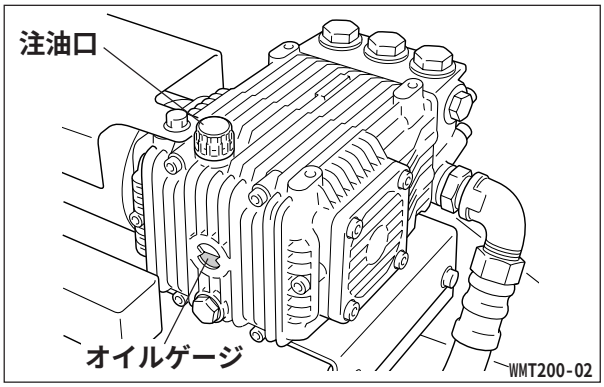
高圧ホースをトリガランスに取付けるときは、スパナなどで確実に締付けてください。



● 外部から自吸をする場合

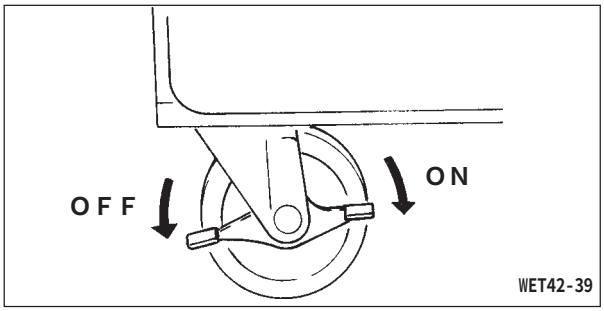
１．内部吸水、余水ホースを外し、外部吸水ホース、余水ホースを取付けてください。吸水ホースの先には必ずストレーナを取付けてください。
余水ホースの先端部は吸水ホースにバンドで固定してください。

２．高圧ホースの端をトリガランスに取付けてください。



動噴オイルの確認

動噴オイルの量をオイルゲージで確認してください。不足している場合は、エンジンオイルを補給してください。



キャスターの走行ロック

キャスターのストッパをONにすると走行ロックが掛かります。ＯＦＦにするとロックが解除されます。

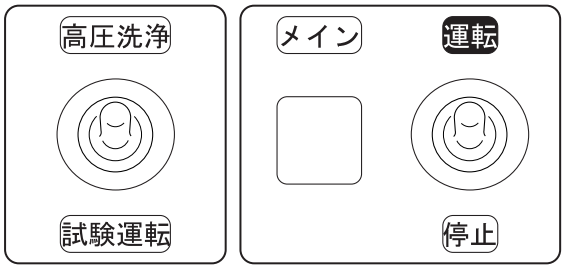
⚠ 警　告

必ずロックをして、作業中に自走しないようにしてください。

操作方法

作業の開始

操作スイッチ



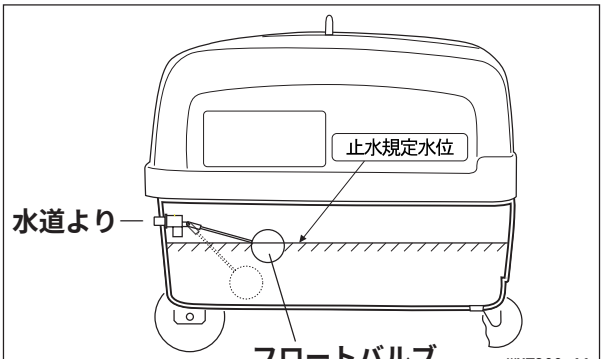
WMT200-10

● 操作スイッチ

メ イ ン ：通電しているときに点灯します。
運　　転 ：通常の運転。
高圧洗浄 ：水が無くなると運転を自動停止します。
試験運転 ：水が無くなっても運転を続けますので、水が無くなったときは直ちに運転を停止してください。

● 水道水を使う場合

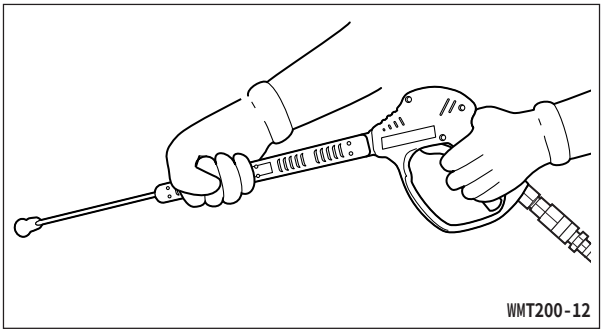
１．水道栓を全開にしてください。
※２．フロートバルブにより水が止まることを確認してください。
（バルブのゴミ詰まりや傾斜地では止水が不完全となります。）
３．操作スイッチを“運転”にしてください。
４．トリガを開くと高圧運転になり、ノズルから高圧水が噴射されます。



WMT200-11

⚠ 注　意

最初の数秒間、ホース内の空気が抜けます。
反動がきたとき、思わぬ方向へ動くことがありますので、トリガランスを両手でしっかり保持してください。



WMT200-12

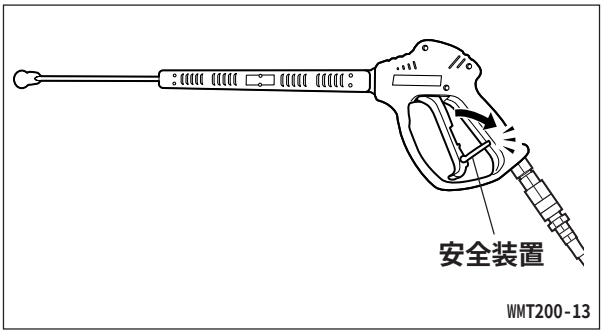
⚠ 警　告

人、動物、電気が通っている製品、本機にトリガランスの先を向けないでください。

５．トリガを閉じると、噴射が停止され、アンローダ弁の働きにより、低圧運転になり、約１０秒後にモータが停止します。再度トリガを開くとモータが運転を開始して、高圧運転となります。
６．作業終了のときは操作スイッチを“停止”にしてください。

重　要

水の噴射量が不安定なときは、トリガランスを開けて１～２分間エア抜き運転してください。
（操作スイッチを“運転”位置で行ないます。）
途中で渇水停止となった場合は、操作スイッチを一旦“停止”にして再度“運転”にしてください。



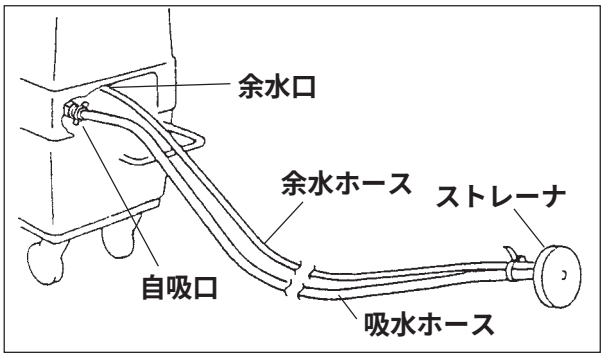
WMT200-13

⚠ 警　告

使用時以外は、トリガランスの安全装置をかけてください。

重　要

水が無くなってモータが停止したときは水を給水し、操作スイッチを一旦“停止”にして再度“運転”にしてください。



● 外部から自吸をする場合

１．吸水ホース、ストレーナ、余水ホースを給水容器（水源）に入れてください。

重　要

余水ホースを吸水ホースにバンドなどで固定して、余水ホースが給水容器（水源）から出ないようにしてください。

２．操作スイッチを“運転”にして、エア抜きを行なってください。トリガランスから水が出てきたら閉じてください。

３．以降は水道水を使う場合と同様です。

重　要

必ず、再度トリガを握り高圧ホース内の残圧を抜いてください。
次に作業を開始するときに反動を防ぐことができます。

重　要

５分間以上、カラ運転をしないでください。

作業の終了

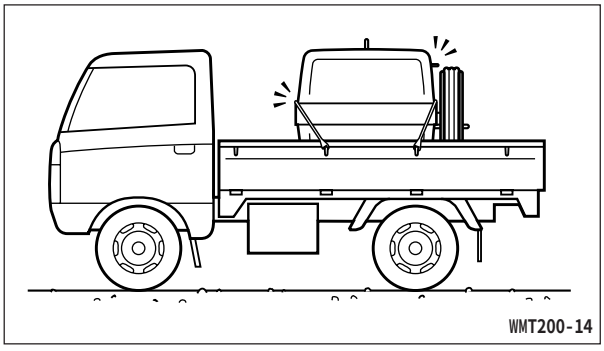
１．操作スイッチを“停止”の位置にします。

２．次に水道栓を閉めてください。
外部から自吸している場合は、ストレーナを水から上げてください。

３．タンクドレンを開けて水を排出してください。

４．トリガを握って、１～２分間の再運転をして水を抜いてください。

輸送・移動時の注意



本機を輸送・移動するときには、以下の点を守ってください。

● 水抜きをする。
● タンクの水をカラにする。
● キャスターの走行ロックをする。
● 本機に衝撃をあたえないようにする。
● トラックの荷台に乗せるときはロープなどで固定し、車輪に歯止めをあててください。

⚠ 警　告

フック、ロープは２５０ｋｇ以上の荷重に耐えられるものを使用してください。

重　要

指定の吊り金具部を吊ってください。

クレーン・ユニックなどのフックで吊るすときの注意

本機を吊るすときには、以下の点を守ってください。

● 電源コード、ホース類は外す。
● タンクの水をカラにする。
● キャスターの走行ロックをする。
● 本機に衝撃をあたえないようにする。
● 吊るした本機の下には絶対に近よらない。

点検・整備

● 点検・整備は、充分な広さがあり、安定した場所で行なってください。

● タバコ、その他の火気は厳禁です。

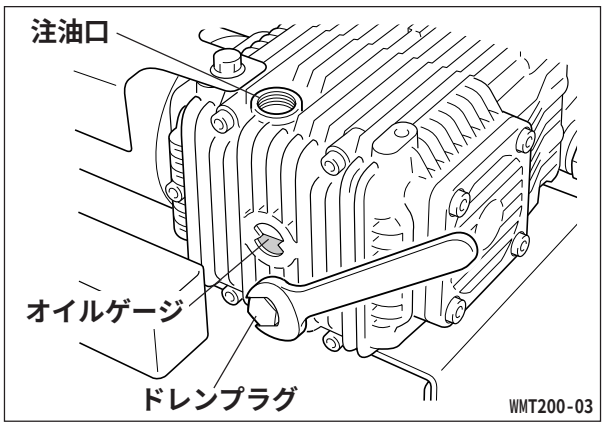
部 品 名	整備内容	整 備 時 期
動噴	給油	初回は５０時間使用後、以降１００時間ごと／１年に１度
ストレーナ	清掃	毎回使用後
動噴	油量確認	毎回使用前
高圧ホース継手	締付け確認	毎回使用前
シースタンク	清掃	５０時間使用後
中間ストレーナ	清掃	毎回使用後
高圧ホース	交換	２年以内

重　要

● この表の期間に従って整備・点検を行なってください。ただし、実際の使用条件や使用回数により必要と判断した場合は、整備・点検の回数を増やしてください。

● 毎月、毎年の整備・点検を行なった日付を記録してください。

● １年に１回以上は、お買い求めの販売店に、定期点検を依頼してください。



動噴のオイル交換

● 交換手順

１．注油口のふたを外します。

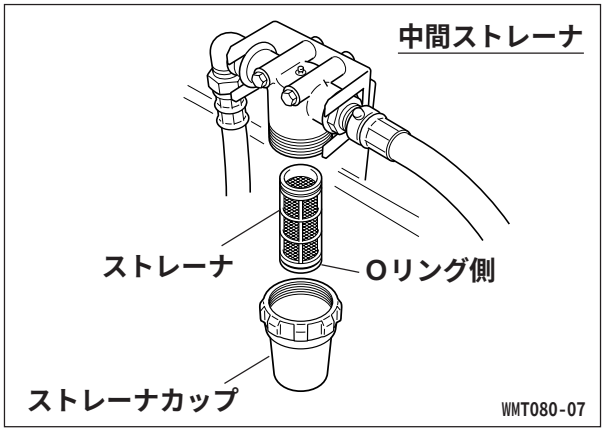
２．オイルドレンプラグを外し、オイルを抜き取ります。

３．オイルドレンプラグを締め、注油口から新しいオイルを入れます。
規定量は、オイルゲージ中央迄で約５００ｍＬです。

４．注油口のふたを締めます。

重　要

ＳＣ、ＳＤまたはＳＥ級ＳＡＥ＃３０エンジンオイルを使用してください。



ストレーナ・中間ストレーナ

● ストレーナの汚れを点検し、ゴミや異物の詰まりは清掃してください。動噴の吸込不足の原因となります。
また、網が破れているときは、交換してください。動噴破損の原因となります。

● 中間ストレーナはＯリングの方向に気を付け、傷付けないように組付けます。

故障診断と対策

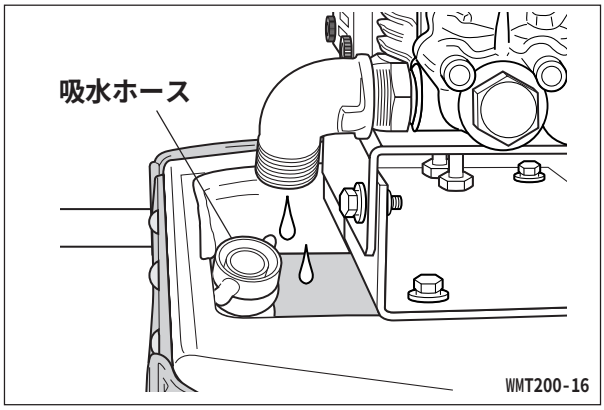
もし不具合が起きたときには、次に記す対策で多くの場合は正常に戻ります。
万一戻らない場合や、ご不明な点がありましたら、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
お問い合わせの際には、その機械番号と形式を忘れずにお知らせ願います。

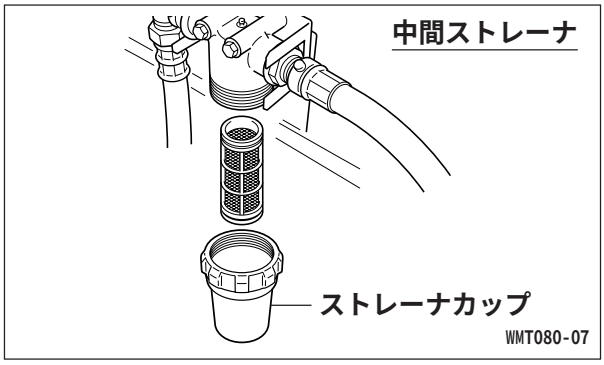
不具合事項	原　因	対　策
● モータが起動しない。	● 電源がきていない。 ● 電圧が低い。 ● 凍結などによる動噴のロック。 ● 過電流保護装置が働いた。	● 本機と電源の接続。 電圧の有無を確認する。 ● 電圧の検査。（１８０Ｖ以上） ● 延長コードの見直し。 ● 暖かくなるまで待つ。 （販売店へ） ● リセットスイッチを押す。
● 運転音が大きい。	● 電源の欠相。 ● 水温が高い。 ● 空気の混入。 ● 吸水不足。	● 電源系統の三相共に２００Ｖあるか確認する。 ● 供給水温を下げる。 ● トリガランスでエア抜きをする。 ● 供給水道量の見直し。 ● 吸水ストレーナ、中間ストレーナの清掃。
● モータが停止する。	● ブレーカが作動した。 ● モータのオーバーヒート。 ● 過電流保護装置が働いた。	● 電源系統の三相共に２００Ｖあるか確認する。 ● 延長コードの見直し。 ● 圧力の上がりすぎ、アンローダ弁を回して圧力を下げる。 ● 温度が下がるまで待つ。 ● リセットスイッチを押す。
● 吸水しない。 吐出しない。	● 動噴、配管内のエアロック。 ● ノズルの詰まり。 ● 高圧動噴の不具合。	● 高圧ホースを外して運転する。 ● 清掃する。 ● 販売店へ。（分解・整備）
● 規定圧力に上がらない。	● ノズルの摩耗。 ● 動噴、アンローダ弁の不良。	● 交換する。 ● アンローダ弁を回して圧力を上げる。 ● 販売店へ。（分解・整備）
● 噴射水が一定しない。 ホースのふれが大きい。	● ノズルの詰まり。 ● 空気の混入。 ● 吸水不足。 ● アンローダ弁の不具合。 ● 高圧動噴の不具合。	● 清掃する。 ● トリガランスでエア抜きをする。 ● 吸水系統の接続部の点検。 ● 供給水道量の見直し。 ● 吸水ストレーナ、中間ストレーナの清掃。 ● 販売店へ。（分解・整備） ● 販売店へ。（分解・整備）

長期保管

重　要

- 冬期間、水が凍結する恐れのある地域では必ず水抜きを行なってください。
- ５分間以上のカラ運転をしないでください。
- 凍結による不具合などは、メーカの責任外となりますので、ご注意ください。





長期保管する前には必ず以下の手順に従ってください。

水抜き

- タンクのドレンを開きタンクの水を抜きます。トリガランスのコックを開き１～２分ほどカラ運転をして完全に水を抜きます。
- 動噴下部の吸水ホースを外し、動噴内、ホース内の水を抜きます。
- 中間ストレーナのストレーナカップをゆるめ、内部の水を抜きます。
- 各ホース類は室内に保管してください。
- 配管、動噴内に不凍液を充満することにより凍結を防止することもできます。

⚠ 警　告

- 凍結防止に不凍液を使用した場合､次に本機を使用する際の不凍液の回収は､不凍液の説明書に従って実施してください。
- 環境汚染を起こさないよう充分配慮し､直接外部に廃棄しないでください。

長期保管の場所

以下の場所に保管してください。

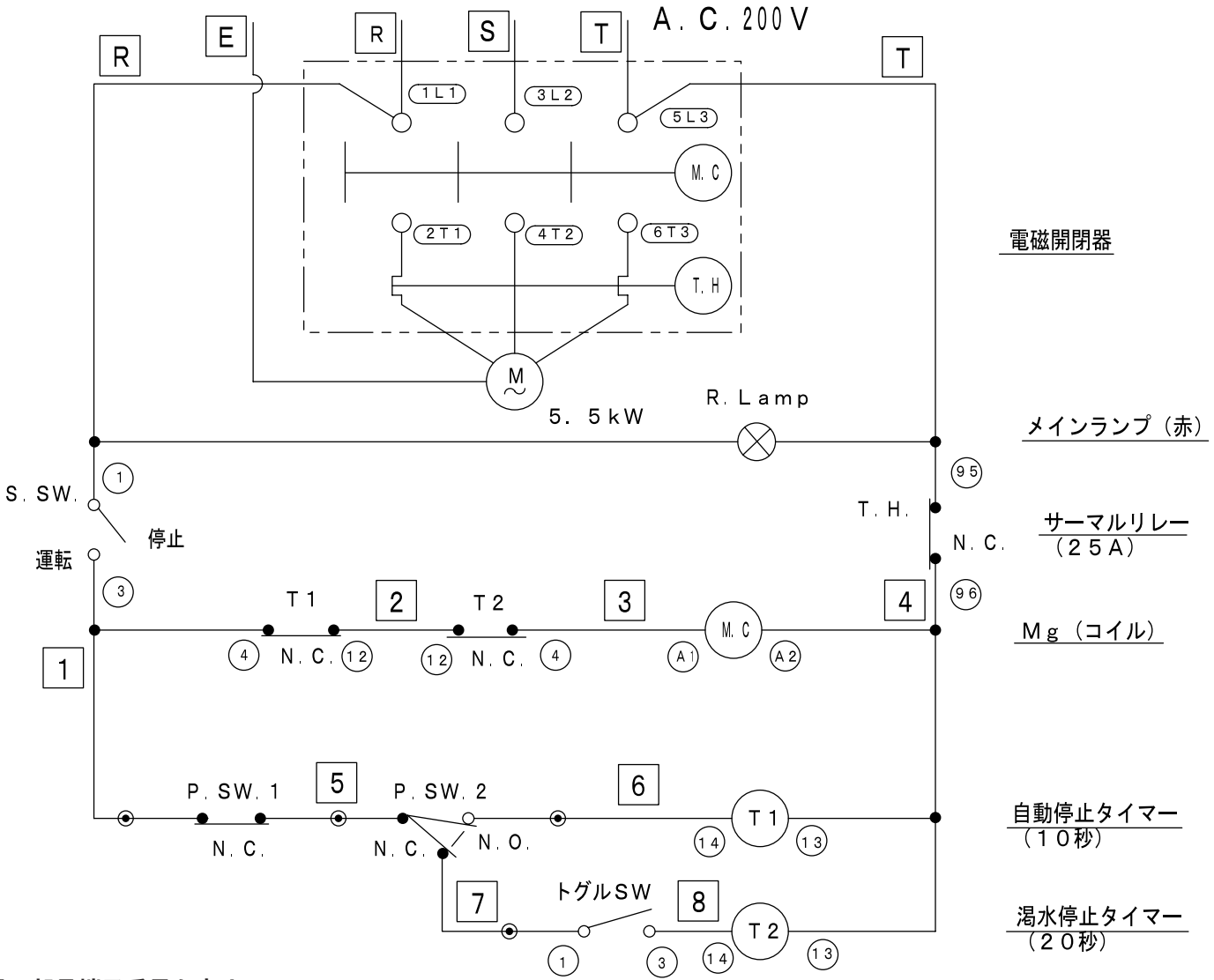
- ホコリがかからない｡熱､直射日光があたらない。
- 子供の手が届かない。
- 火気がない。
- 平坦な場所。
- 近くに危険な物が無い。

仕　様

項　目		単位＼形式	WMT200/50	WMT200/60
モータ	形　式	－	三相 200V　5.5kW 全閉外扇形	
	周波数	Hz	50	60
	全負荷電流	A	23	21
動噴形式		－	３連プランジャ式	
吸水量		L/min	13.0	13.2
吐出圧力		MPa	20（200kgf/cm²）	
吸上げ高さ		m	2（水温 30℃以下）	
長さ×幅×高さ		cm	135 × 58 × 95	
質 量（乾燥）		kg	130	
付 属 品			高圧ホース（φ 9.5 × 20 m）、トリガランス	

よりよい製品を作るために予告なく仕様を変更する場合があります。

配　線　図



・高圧洗浄（ＯＮ）
・試験運転（ＯＦＦ）

注記

１）図中 ◯ 内の番号は部品端子番号を表す。

２）図中 □ 内の番号は線番を表す。

WMT200-17

株式会社 共立

東京都青梅市末広町1-7-2　〒198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東1-2-20　〒004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東5-1-50　〒984-0002　☎022-288-0511(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県西春日井郡西枇杷島町宮前町1-39　〒452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田566-159　〒701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原5-3-7　〒816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X753-002 18 0
X753 612-090 0
0407Al 0901 ES

© 2004 株式会社 共立　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。